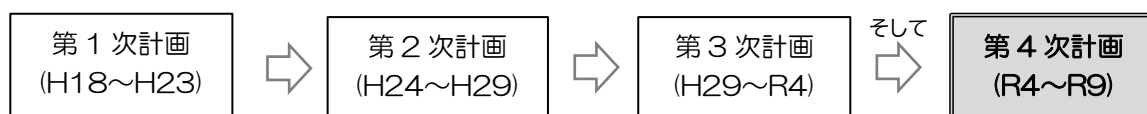


古賀市における子ども読書活動等について

令和3年7月29日

／子ども読書活動推進計画策定協議会 資料

1. これまでの歩み



2. 計画策定に向けた動き

(1) 本策定協議会の「ワーキングチーム」がすでに始動 ⇒ その中で“読書の必要性”を伝えた

～読書世論調査2020のデータから～

- ①「本を読んで勉強になった」
〈小学生〉67.8% 〈中学生〉61.2% 〈高校生〉63.2% が『はい』と回答
- ②「本を読んで感動することができた」
〈小学生〉61.5% 〈中学生〉72.8% 〈高校生〉84.3% が『はい』と回答
- ③「本を読んで現実とは別の世界を楽しむことができた」
〈小学生〉79.9% 〈中学生〉83.5% 〈高校生〉88.0% が『はい』と回答

読書が子どもに与える影響は大きい

3. 古賀市の特徴

(1) “古賀市は子どもの読書活動がもともと盛ん”

- ①24のボランティアグループの存在
- ②学校図書司書の全校配置
- ③多彩なネットワーク

子どもの読書活動をさらに伸ばしていきたい

(2) “図書館周囲に、さまざまな施設が集積”

- ①生涯学習施設・機関が一体的に立地
 - リーパスプラザこが(図書館、歴史資料館、交流館、中央公民館)、市民グラウンド、市民体育館
 - 文化協会・体育協会・つながり広場 など
- ②JR古賀駅、市役所が至近距離
- ③古賀競成館高校、福岡女学院看護大学などの文教施設もある

立地条件を活かして、相乗効果をさらに引き出す